

# 会津医療センター 糖尿病・代謝・腎臓内科 多発性嚢胞腎患者さんのサムスカ導入入院について

## ○サムスカ錠ってどんな薬？

サムスカ錠は腎臓での「バソプレシン」の働きを妨げ、嚢胞が増大する速度を抑える効果のあるお薬です。このお薬を継続して服用することで、腎臓の働きが低下して腎不全(人工透析)になる時期を延ばすことが期待できます。従って、継続して服用することが大切です。

なお、バソプレシンには尿量を調節する働きがある為、サムスカ錠を服用すると尿量と尿の回数が増えます。サムスカ錠を服用中は脱水症状を防ぐために十分な水分をとる必要があります。

## ○入院にあたって

多発性嚢胞腎の進行を抑える治療薬(サムスカ錠)は、入院下で服薬を開始するように定められているお薬です。ご入院中には、内服による副作用の程度を確認したり、安全に飲めるように管理、指導をさせていただきます。また、腎臓病専任管理栄養士による栄養指導により透析予防のための食事療法を行います。

## ○入院スケジュール

	入院日	入院2日目	退院日
サムスカ錠 内服	朝45mg 夜15mg	朝45mg 夕15mg	朝45mg 夕15mg
各種検査	○	○	○
体重測定	入院時・夜	朝	朝

※検査は適宜追加される場合があります。ご相談によっては1泊2日も対応可能です。

## ○退院後の流れ

1泊2日の入院が終わると、自宅での内服となります。退院時にお薬をお渡しします。退院後、約1か月間は約1週間毎に、外来にて採血、尿検査などを行います。サムスカの投薬量は、症状を見ながら、徐々に増量していきます。その後、月1回のペースでの通院治療となりますが、主治医の先生との連携により通院頻度を決めます。(主治医の先生に継続通院可能です。)  
退院後、患者様の体調に変化があったり、困ったことがあればいつでも病院にお電話ください。

## ○ご紹介の流れ

来院時にじっくりお話しさせて頂くため、予約制にさせて頂いております。  
下記連絡先にお問い合わせください。

<ご紹介先> : 会津医療センター 糖尿病・代謝・腎臓内科 担当医師 国見基瑩  
<連絡先> : 会津医療センター 患者支援センター 地域連携室  
電話 (0242)75-3408 ファックス(0242)75-3409